

銭形通信

Vol.3

秋号



Activity Report

源氏物語ミュージアムで平安ロマンを満喫！

千年の時を超え、古の美意識に出会う旅にみんな大満足。



デイサービス和(なごみ)では、10月8日、9日、10日、宇治市にある「源氏物語ミュージアム」に出かけました。“源氏物語千年紀”にあたる今年の話のスポットです。市の郊外に静かに佇むこの施設は、のんびり過ごすには最適の場所。施設内は源氏物語ゆかりの展示がいっぱい。平安貴族の趣ある恋愛風景のほか、雅な生活を窺い知ることができ歴史好きにも納得のスポットです。今回は宇治市内で食事を摂り、1時間半ほど施設を見学。展示物や映画を一通り楽しんで、平安時代へのタイムスリップ気分を満喫。利用者さん大満足の旅でした。



「宇治市源氏物語ミュージアム」京阪宇治線「宇治駅」
下車 徒歩8分 TEL0774-39-9300



Let'sゼニガタは

太秦映画村でエキゾチック体験

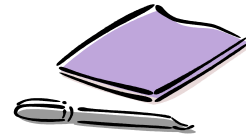
Let'sゼニガタも時代物で勝負。9月7日に東映太秦映画村に行ってきました。近過ぎてかえって行けないスポットですが、行ってみるとこれが意外と楽しい。目の前には時代劇でよく見る町並みが広がり、ちょんまげ姿のお侍さんや町娘が歩いていてかなりヘンな風景。ロケセットなので江戸と京都が渾然一体なもの面白い。写真撮影禁止だったのでお見せできないのが残念ですが、利用者さんのイチ押しは「おけけ屋敷」。入口から出口まで絶叫しっぱなしの

アトラクションでした。他にも「ちゃんばらショー」などもあり、夕方までたっぷり遊んで帰ってきました。



「東映太秦映画村」市バス91・93系統「太秦映画村道」下車
南へ徒歩5分 TEL 075-864-7716

銭形ヘルパー川柳



この頃〇〇川柳が流行っています。そこで“銭形ヘルパー川柳”なるものを作ってみました。日頃の仕事でふっと感じたアレコレを5・7・5の17文字に詰め込んでみました。ウフツとなったり、ホロツときたり……。利用者さんからの投稿もいただきました。

ほのぼの編

「口ずさむ 車いす押し 赤とんぼ」 Y.Kさん

…昔を懐かしむ利用者さんとヘルパーの声が聞こえてきます。

「お喋りは 言葉の魔法 みな笑顔」 I.Sさん

…コミュニケーションのきっかけはお喋りから。

「来はった!と 待たれる笑顔 ホツとする」 T.Yさん

…そんなふうに住ってもらえるヘルパーになりたい。

「車いす 乗っている人 歌が出る」 K.Mさん

…手拍子を打ちたくなるようですが、車いすの手は離さずに。

「訪問し 母を偲ぶ あの笑顔」 H.Sさん

…そうですね。そんな時があるんです。

「ヘルパーさん 差し伸べる手と 優しい笑顔」 I.Sさん

…一番大事なことですな。



がんばってます編

「玉の汗 ハンドル握る手 小麦色」 M.Mさん

…年々日焼け色は消えにくく、シミはつきやすい…。

「雨の中 濡れた合羽を 何回も」 ミユニバースさん

…濡れた合羽を何回も着るのは嫌なんですよね～。

「うぬぼれが ギックリ腰を また招き」 S.Kさん

…慣れの中に潜む危険、気をつけてください。

「夕暮れに 虫の音聴いて ペダル漕ぎ」 Y.Kさん

…家路を急ぐヘルパーの自転車が走り去って行きます。

「マンションの 部屋番号は どれだっけ？」 T.Kさん

…焦るほど混乱して…。しっかり覚えておきましょう。



ヘルパー心得編

「“おおきに”と 言ってもらえる ヘルパーに」 K.Mさん

…失敗もあるけれど少しでも喜んでもらいたい。

「ヘルパーの 資格はあなたの 笑顔です」 H.Sさん

…皆さん必ずこの資格は持っていてください。

「実るほど 稲穂と同じ 熟ヘルパー」 Y.Kさん

…おごらず高ぶらず、謙虚な姿勢が肝心。

「自転車乗り 途中でパンク でも笑顔」 U.Hさん

…仕事中のハプニング、でも訪問先では笑顔です。

「ピンポンと 鳴る音を待つ 利用者さん」 T.Yさん

…待っていて下さる人がいる有難さを励みに。

「うん、うん」と どうでもいいが うなずこか」 ミスユニバースさん
…何回も同じ話をされても「うん、うん」と聞く。「どうでもいいか」と思える話も聞き流さない。そんな傾聴の姿勢が大切です。



「顔色を 見ながら 今日も ニコニコと」 京都さん
…今日は〇〇さんお元気かな？気配り目配り忘れずに。

「有難きは あなたと共に 生きること」 アルデンテさん
…“あなたと出会えてよかった”、銭形企画の基本理念です。



デイサービス編

「送迎の 車の中は ご飯の話」 N.Yさん
…そうなんですか～！ 確かに食べることは大切です。

「今日もまた 笑顔満開 デイルーム」 H.Sさん
…デイルームからは歌声や笑い声が聞こえてきます。時には叫び声も…。

「エンジンの 音で開くよ 玄関のドア」 N.Yさん
…デイに行くのを待ち遠しく思っているのかな。

利用者さん投稿編

「鴨川の 土手のほとり 秋桜」 AI 様
…風に吹かれてそぞろ歩きしている様子が目に浮かぶようです。

「治ったら 仕事バリバリ 頑張るぞ！」 M.A様
…その気持ちをヘルパーも見習います。

「なごみさん 事故米、メラミン 関係ない？」 T.S 様
…はい、大丈夫です。

「夕暮れの 東山尾根に 紅葉が映る」 M.T 様
…絵になってます。これは俳句ですね。



「雨やんで 物干し竿に かたつむり」 S.T 様
…窓からかたつむりを眺める目が優しそう。

「夏祭り 今日踊るは お富さん」 S.T様
…手拍子、足拍子、元気が一番です。

「正月や 何が無くとも 親二人」 M.T 様
…思わず熱いものがこみ上げてきます。

「また来たよ デイサービスに よいところ」 M.A様
…そう思っていただけよう精進します。

「今日も来て 楽しさが増す 和かな」 M.T 様
…いつもご利用有難うございます。

よいしょっ！編



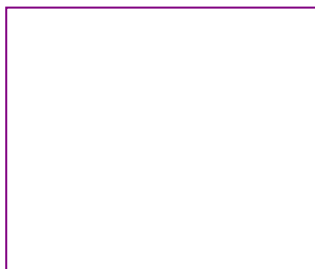
「銭形の お初親分 ここにあり」 H.Sさん
…社長いつもお世話になっております。

トホホ・・・編

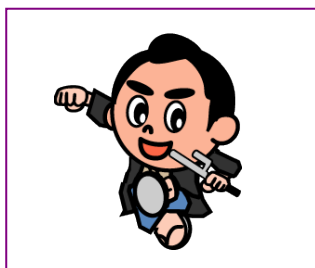
「休日も 仕事の日でも 服同じ」 T.Kさん
…それでいいのか、若者！？

紙面の関係上ご紹介できなかった作品がたくさんありますがご了承下さい。皆さん歌ごころのこもった作品を寄せていただき誠に有難うございました。

何をしているのかな？



《旧イメージロゴ》



《新ロゴ「平次くん」》

この高齢者と思われる2人の後ろ姿からどんな様子を思い浮かべますか？おじいさんの横には猫がいて、おばあさんの手元には湯気が上がるお茶。おじいさんの右手は、おばあさんの背中にあてがわれています。2人とも微笑むような穏やかなお顔のように思えます。何か“ほっこり”するような気持ちになります。

このイラストは銭形企画の旧イメージロゴ(?)なのです。介護保険制度が始まる前、銭形企画が今よりずっと少人数で託老所として活動していた頃から使われています。当時からいるヘルパーの中には社長の名詞に印刷されたこのイラストに心惹かれて面接に来たという人もいたとか。

今号で紹介しましたヘルパー川柳では、『笑顔』という言葉がたくさん使われていました。何回も使われるということは、ヘルパーという仕事のキーワードなのだと思います。ヘルパーの仕事というよりも人と人とが関わり合うことにおけるキーワードと言えるのかもしれませんが、そして何よりも暮らしの中にこんなふうに“ほっこり”としたひと時があって欲しい、そんな願いに応えられるよう「平次くん」は京都の町を東へ西へ走ります。今日も明日もあさっても……。 (執筆：松井益江)

アンケートへのご協力 誠に有難うございました。



今年度も利用者様・ご家族様のご協力を得てアンケートを行わせていただきました。集計結果はお手元にお届けいたしました。各項目の合計数は、「満足」41、「普通」7、「不満」0でした。「普通」と答えられた中には不満足に思われている部分も含まれているのかもしれませんが、概ね受け入れていただいている結果となりました。有難うございます。アンケートの結果は以上のような内容でしたが、4月から現在までの間に苦情として寄せられた事例があります。「サービス時間変更を依頼したが、ヘルパーの言葉遣いや態度が不愉快であった。」、「移動介護中、行動を制止する場面で行き過ぎた対応があった。」、「食事介助時の残食が多いのでしっかり食べさせて欲しい。」、「虫さされや擦り傷について、何らかの対応をするとともにきっちり家族に報告して欲しい。」、「送迎時に挨拶をしない職員がいた。」、「掃除の仕方が不十分なので隅々まできれいにして欲しい。」、「入浴の順番が男性ばかり先になっている。」等等。それぞれの苦情に対しては利用者様、ご家族様、担当職員、担当責任者で話し合いを持ち、業務内容の改善に努めて参りました。今後とも皆様のご意見を伺いながら、より良いサービスを目指して参りますので何とぞ宜しくお願い申し上げます。また、お気付きの点がございましたらご遠慮なくご一報ください。

『銭形通信 Vol.3 秋号』

発行元：(有) 銭形企画 〒600-8365 京都市下京区丹波口通大宮西入丹波街道町 298 番地

TEL075-353-4880 (代) FAX075-353-4891 E-mail: mail@zenigata-kikaku.jp

編集：松井 益江 (まつい ますえ) 上原 啓輔 (うえはら けいすけ)